

## 海外研修経験から見た大学図書館(2)

# 何を伝える？ どのように伝える？ コミュニケーションの場としての 図書館

平成23年度大学図書館職員短期研修

2011年10月7日 (京都大学)

2011年11月18日 (東京大学)

明治学院大学図書館 鈴木直子

## 本日の課題： なぜ海外の図書館なのか・・・

- ・サービスや技術レベルの高さ？
- ・ライブラリアンの質の高さ？
- ・すばらしい設備？

日本とは異なる文化の中でのコミュニケーション  
人やモノに接する際の、意識や考え方の違い

・・・世界の中に出ると、日本人は  
コミュニケーションが苦手

# 研修概要

- 日程：2009年11月22日(日)～11月29日(日)
- 私立大学図書館協会国際図書館協力委員会主催
- 参加者・・・6大学、6名
- 訪問先      カナダ バンクーバー

ブリティッシュコロンビア大学図書館

University of British Columbia Library

サイモン・フレーザー大学図書館

Simon Fraser University Library

バンクーバー図書館

Vancouver Public Library

# ◆ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia (UBC)

ブリティッシュコロンビア  
州立の総合大学。  
1908年創立。



- 22学部118学科
- 学部生約40,000名。大学院生約8,000名
- 留学生 約6,000人(2008年末時点)
- 大学ランキング カナダ2位、世界33位



Irving K Barber Learning Centre

Koerner Library

# UBC図書館



# ◆ブリティッシュコロンビア大学図書館 University of British Columbia Library

- 複数のキャンパスに16か所、計20以上の図書館があり。
- コレクション(2010年3月末時点)
  - 蔵書数 600万冊以上
  - 雑誌タイトル数 97,000タイトル
  - マイクロ資料520万点 地図・ビデオ 84万点
  - 電子ブック 55万点
  - 電子リソース540万点以上
- スタッフ 約300人  
(内80人がライブラリアン、他はサポートスタッフ)

# ◆サイモンフレーザー大学 Simon Fraser University (SFU)

- 1965年創立。
- 科学、応用工学、環境  
人文・社会学、ビジネス、  
教育、保健科学、文芸
- 学部生約27,500名。大学院生約5,400名
- カナダ中規模大学ランキング1位（2009年）
- 世界大学ランキング139位（2007年）
- 留学生約2,000人





W.A.C. Bennet Library (Burnaby)

# SFU 圖書館



Fraser Library (Surrey)



# ◆サイモンフレーザー大学図書館 Simon Fraser University Library

バーナビー、サリー、バンクーバー市街、  
計3つの図書館あり。

## コレクション

- 蔵書数130万冊、逐次刊行物6,000タイトル
- 電子ブック17万点
- 電子ジャーナル6万1千タイトル
- データベース500種

## UBC — 人と人との関わりを意識した図書館

### Irving K. Barber Learning Centre

#### ★学習支援機能を充実させた中央図書館

- 目的によるゾーニング
  - 「Open Study Spaces」 可動式の家具 一人でもグループでも座っても寝転がってもOK
  - 「Quiet and Silent Study」 備え付け家具 静かに学習
- 学習支援 「Chapman Learning Commons」
- グループ学習 「Group Study Room」
- 授業との連携 40名～110名の様々なサイズの教室
- 飲食 カフェテリア「ike's café」







## SFU - きめ細かい学習支援体制

### The students learning commons(SLC)

★学生が授業についていけるための学習支援サービス。

- ・ライティングやラーニングの専門家が学習支援のコーディネーターとして図書館に常駐。
- ・コーディネーターはチュータースタッフの学生ボランティアを育成して学生の相談に対応させる。

★ホームページ上の「Askaway」

チャット形式で気軽にレファレンスライブラリアンに質問できる双方向のコミュニケーション



# 図書館からのメッセージを利用者に届けるには？

- UBC  
コミュニケーションスペースと静かなスペースを学生が自主的に使い分け
- SFU  
「ラーニングコモンズは空間のことではなくAttitude」という館員の言葉

- ・利用者は広報物のみからメッセージを受け取るわけではない。
- ・サービス内容、施設のデザイン、スタッフの態度、すべてから作り上げる利用者とのコミュニケーションが広報の鍵

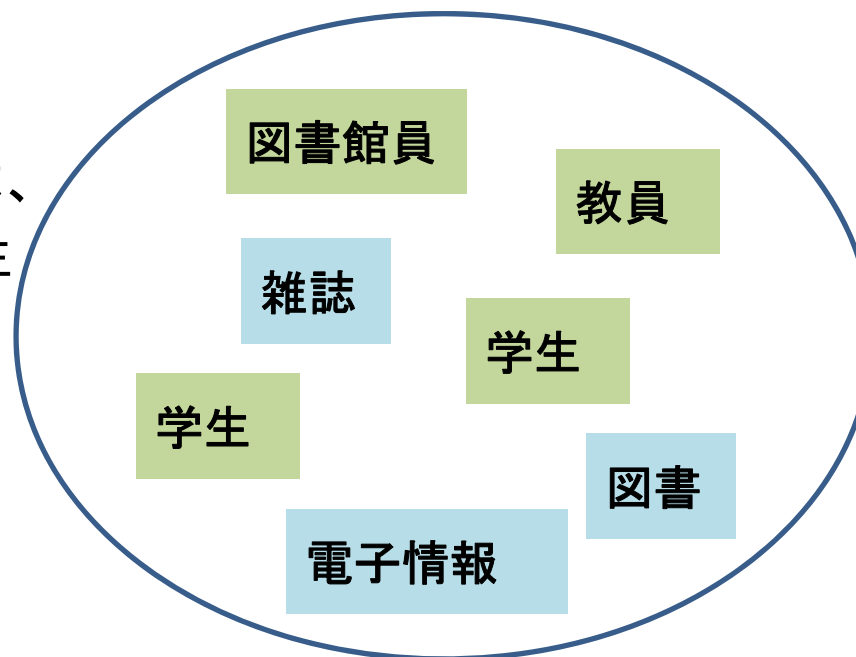


# ◇日本とカナダー 何が違うのか？

## 図書館という場のとらえ方

### ☆図書館はコミュニケーションの場である

人と人、人と情報...  
これらが集まる場所には、  
コミュニケーションが発生  
するはず。



⇒日本ではどうか？

# 大学の中の「図書館」という機能

- ・人々が自主的に集まる場所（授業との違い）
- ・集まった人どうしで、学習、研究をより進化させられるようなコミュニケーションがある
- ・そのために必要な資源を確保し、すぐに利用できるようマネジメントする

日本とカナダとの違い

- ・・・コミュニケーションをどれだけ重視しているか

利用者の求める学び方の実現